

「小児・AYA世代がん患者の支援を考える ～小児がんと妊孕性、妊孕性温存について～」

神奈川県立こども医療センターは、厚生労働省から小児がん拠点病院として指定を受け、小児がんの知識の普及や情報発信を推進しています。今回は、思春期・若年成人（AYA）世代の小児がん患者さんの治療に関連した妊孕性について取り上げました。その専門家であるお二人の先生からお話を聞き、小児がんと妊孕性、妊孕性温存について知り、小児がん患者さんやご家族への支援を考えて行けたらと思います。

どなたでもご参加いただけます。参加無料／事前申込不要

【プログラム】

13:35～14:25 「小児がん治療と女性の妊孕性、妊孕性温存」
聖マリアンナ医科大学
生殖医療センター 副センター長 高江正道 先生

14:35～15:25 「小児・AYAがん男性患者の妊孕性」
獨協医科大学埼玉医療センター病院長/泌尿器科主任教授
リプロダクションセンター統括者 岡田弘 先生

日 時：2019年3月2日(土)13:30～（13:00受付開始）

場 所：TKPガーデンシティ横浜6階 ホール6D

横浜市神奈川区金港町3-1コンカード横浜 Tel:050-2018-2092

<http://www.tkpcy.net/access/>（裏面に地図あり）

主 催：地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター

共 催：横浜市医療局

**後 援：横浜市小児がん連携病院（横浜市立大学附属病院・済生会横浜市南部病院・
昭和大学藤が丘病院）**

問合せ：地方独立行政法人神奈川県立病院機構

神奈川県立こども医療センター 小児がん相談支援室（竹之内）

電話：045-711-2351（代）（平日 8:30～17:15）

E-mail：shounigan@kcmc.jp



